

空の安全と JAL 争議の全面解決を

支援する茨城の会

TX つくば駅宣伝

5月19日(日) 12時～(11時半集合)

つくば駅地下改札にて

スタンディングアピール

その後、場所を移動して意見交換会予定

2010年 大晦日に165名の解雇を強行

2010年1月、JALは政府の方針で破綻と再建が進められました。再建の過程で人員削減目標を超過達成、12月時点で1,586億円の営業利益を上げていたにもかかわらず、大晦日にパイロット81名と客室乗務員84名を年齢と病欠歴を基準に整理解雇しました。解雇後に稲盛会長(当時)は、記者会見や裁判で、「経営上解雇の必要はなかった」と述べました。解雇されたベテラン乗務員は、現場の第一線で安全問題や職場改善に取り組んでいた人達です。165名の解雇は、利益を最優先するために、モノ言う労働者の排除と労働組合の弱体化を狙ったもので、安全に逆行するものです。



連絡先：国府田喜久男 TEL090-4074-8705 メール kiku01946531@gmail.com

高松義雄 TEL090-3069-6438 メール yoshi_yoshi_2039@yahoo.co.jp